

視覚障がい教育研究部会の取組

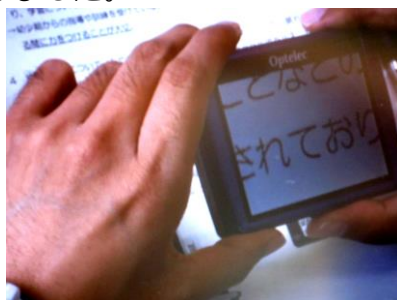
視覚障がい教育研究部会では、明星視覚支援学校と、伊形小学校、門川小学校、大王谷学園初等部の各弱視特別支援学級が連携しながら視覚障がい教育の充実を目指して活動しています。今年度は、研究テーマを「専門的指導の充実と共有化をめざして」とし、会員の専門的知識及び指導力の向上を目指した合同研修会を3回実施しました。

【第1回合同研修会】「弱視教育について」

明星視覚支援学校の新任者と弱視特別支援学級の職員が共に研修し、弱視児の見え方や配慮事項、必要な教具等について学びました。



単眼鏡の見え方を体験



小型の拡大読書器を体験



視野狭窄や白濁の見え方を体験

【第2回合同研修会】「視覚障がい教育研究部会夏季研修会」

平成30年7月30日（月）に、夏季研修会として講演会と教材教具研修を行いました。

午前中は、全国高等学校校長協会 入試点訳事業部専務理事 高村 明良（たかむら あきよし）氏より、「触ることを楽しみ、触ることから学ぶ幼児児童生徒を育てるための配慮や手立て」の演題でご講演いただきました。小中学校や福祉関係からも参加があり、80名を越える人数となりました。全盲の子どもたちのイメージの構築がどのようになされていくのか、またどのような情報の提供や教材の提示が必要なのか等、具体的ですぐに実践に生かせるお話ばかりで、改めて子どもたちへの関わりを見直す機会となりました。

午後は、教材教具の研修会を行いました。手作り、既製品を問わず、会員が指導に効果的であったと感じた教材を展示し、閲覧し合いました。見えづらさに配慮した教材や触って学べる教材等、会員同士が互いに学び合う場となりました。講師の高村氏も見学され、子どもたちが触りたくなる教材、わかりやすい教材についてアドバイスをくださるなど充実した会となりました。



高村 明良（たかむら あきよし）氏



教育・福祉関係など80名参加



アドバイスをする高村氏

【第3回合同研修会】「科学ヘジャンプ in 九州」

明星視覚支援学校で行われた視覚障がい児を対象とした体験型イベント「科学ヘジャンプ in 九州」にて、科学的な体験の中での工夫や配慮について学びました（様子は「科学ヘジャンプ」のHPをご覧ください）。「電気を作る仕組み」「津波や地震のメカニズム」「宮崎の魚（チョウザメ）」等、10のワークショップで触察（触ることによる観察）や体験を中心とした活動が行われ、子どもたちは楽しい1日を過ごしました。理科や社会等の視覚的な資料の多い教科は、視覚障がい児の指導では難しい内容が多いのですが、大いに参考になりました。